

【三月の言葉（令和六年）】

煩惱を捨てることは

絶対にできない。

煩惱を捨てることなどできない私。そういう弱くて愚かな人間が存在するがゆえに、阿弥陀様は仏になつてくださいました。煩惱を捨てられないから阿弥陀様が仏となり、いつも一緒に、私を支え導いてくださっています。

浄土真宗は、「煩惱を無くせ・立派な人になれ」という教えではありません。

私たちは縁次第で角つのが出たり、たくさん欲や損得の心が出てきます。本当にまた出たかと思うほど根深いものがあります。本当に情けないです。恥ずかしいです。愚かです。阿弥陀様は、そんな私を見捨てずに念仏となり私の口から出て「いつも一緒だよ。我にまかせよ」と呼び続けてくださっています。私が〈私として許されて〉〈安心して〉生きていくために、念仏の教えは必要なのです。

「救われぬ身に沁しみみわたる 弥陀のよび声」です。